

平成28年度 第3回全体庁議（5月11日開催）

区分	審議・報告	案件名 (担当部)	(2) 排水設備（ディスポーザ）基礎調査結果について [上下水道部]
----	-------	--------------	---------------------------------------

■ 提案・報告の趣旨

平成27年度に帯広圏1市3町（帯広市および音更町・芽室町・幕別町）において、「単体ディスポーザ」導入の可否を検討するため、下水道施設およびごみ処理への影響について、基礎調査を実施したことから、同調査結果を平成28年5月24日の建設文教委員会に報告するもの。

■ 提案・報告の主な内容(概要)

1. 調査の概要
帯広圏1市3町（帯広市および音更町・芽室町・幕別町）の下水道認可区域で単体ディスポーザを導入した場合の下水道施設やごみ処理への影響、市民生活や環境への影響、費用対効果などを調査するため、「アンケート調査」・「下水道施設およびごみ処理施設への影響評価・経済性評価」により、予測分析・評価を行った。
2. アンケート調査
住民のディスポーザに対する意識、設置・使用の意思を把握するため、ディスポーザ未設置世帯（1市3町）および設置世帯（帯広市）へアンケート調査を実施したもの。
3. 影響評価(ディスポーザ普及率20%とした場合)
※下水道への影響
・ディスポーザが普及した場合でも現有施設・設備で十分可能との結果が得られた。

※ごみ処理への影響
・家庭系可燃ごみの減量化率は約6%程度の減少。
・ごみ収集・運搬については、運搬回数が減ることから、走行距離は2%程度削減となる。ただし、車輛台数の削減には至らない。
・中間処理(くりりんセンター)への影響は、発電量が0.5%程度減少。
・最終処分場の削減効果は0.5%程度にとどまる。
4. 経済性評価
※下水道の経済性評価
・ディスポーザの普及により、器機の購入費や維持管理費など、市民負担が増加する。

※ごみ処理の経済性評価
・ディスポーザの普及率が40%以上で経費削減効果が見られる。

■ 今後のスケジュール

・今回の調査結果に加え、経済性の評価では表せない市民の利便性（ごみ出しの軽減・家庭での衛生環境）などについて関係部局と協議を進め、総合的評価を行い、ディスポーザ導入に向けて3町（音更町・芽室町・幕別町）および北海道と調整を進めていく。

■ 審議結果

・同内容で、5月24日建設文教委員会へ報告することで了承された。

■ その他、指摘事項等

・特になし